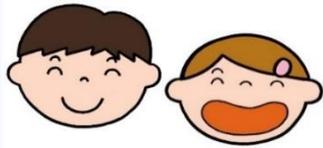


～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 26

令和4年3月22日発行 袋井市幼児教育センター



ものの性質やしぐみに 気付いたり、考えたりします

様々な土に触れることで色や硬さ、肌触りなど、性質の違いに気付く

袋井の幼児教育で
育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
基礎となる力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

繰り返し関わる中で、ものの性質を知ります

子どもは様々なものに囲まれて生活し、それらに興味をもち、確かめようと触れたり、じっくりと観察したりしながら、重さや硬さ、長さや温度などの違いに気づき、そのものの性質を知ります。

幼児期にいろいろな物に興味をもって関わる機会をつくったり、ものとのかわりを十分楽しませたりすることが大切です。

体験を通して、もののしぐみを理解します

子どもは様々なものに触発され、「やってみよう」という意欲をもって遊び出します。遊ぶ中でもののしぐみを理解し、「こうしてみよう」と遊び方を工夫するようになります。

もののしぐみに興味関心をもち、主体的に関わることで好奇心や探究心をもって考えたり試したりする力が育ちます。



土の性質が分かり、いろいろな土を使い分けて光るだんごをつくる



けん玉のしぐみが分かり、いろいろな遊び方に挑戦する

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

